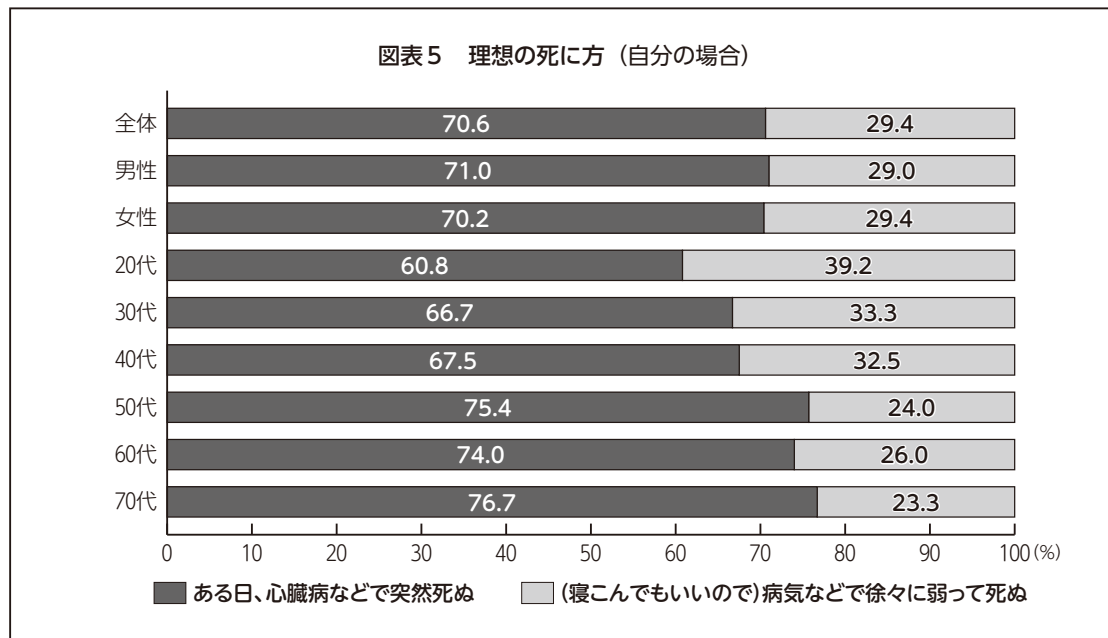


4

理想の死に方 “ぽっくり死”か“ゆっくり死”か

①自分の場合

ぽっくり死にたい人は7割



- 自分で死に方を決められるとしたら、いわゆる「ぽっくり死」と「ゆっくり死」のどちらが理想だと思うかをたずねたところ、「ある日、心臓病などで突然死ぬ」（ぽっくり死）が70.6%、「(寝込んでもいいので) 病気などで徐々に弱って死ぬ」（ゆっくり死）が29.4%となった。
- 年代別では、ぽっくり死を希望する人の割合は年代があがるにつれて増加し、20代では60.8%なのに対し、70代では76.7%と15ポイント以上も多い。高齢者ほどぽっくり死願望が多いことは過去の調査結果からも明らかになっており、今回も同様の傾向がみられた。
- 「ぽっくり死」を選択した人は「苦しみたくないから」（69.0%）、「家族に迷惑をかけたくないから」（59.8%）が過半数を占めたが、「ゆっくり死」では、「死の心づもりをしたいから」が57.1%と最も多かった。「寝たきりなら生きていても仕方ないから」という理由を選んだ人は、「ぽっくり死」では47.7%いたが、「ゆっくり死」では5.8%にとどまっており、理想の死に方によって、死生観の違いが浮き彫りになった。